指導医の特例申請書

日本プライマリ・ケア連合学会

理事長　殿

ブログラム名：

プログラム責任者名：

新家庭医療専門研修ⅠまたはⅡにおける指導医について、新家庭医療専門医制度に基づく家庭医療専門研修プログラムに関する細則（以下細則）第7条の特例要件を満たしていますので、お認め下さい。

記

特例を申請する研修：　　家庭医療専門研修　Ⅰ　・　Ⅱ　　（いずれかを選択）

研修施設名：　　 .

特例申請書の適応要件：

（下記のいずれかに該当する必要があります）

|  |  |
| --- | --- |
| 細則第７条（５）の条件 | 該当するものに〇 |
| ①総務省の「過疎関係市町村都道府県別分布図」にて過疎市町村や区域ないしはみなされる市町村や区域に位置する病院・診療所 |  |
| ②厚生労働省へき地医療対策等実施要綱で定義されるへき地診療所 |  |
| ③地域枠や自治医科大学の卒業生に対する医師派遣施策等に基づき、医師派遣が必要な施設であると各都道府県の医師派遣を担当する部署が判断し、その旨の文書が出せる施設（文書の添付が必要です） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 細則第７条2の条件 | 該当するものに〇 |
| 認定指導医の産前・産後休業、育児休業、介護休業または病気療養等のやむを得ない理由で細則第7条2の要件を一時的に満たせなくなった（この場合、特例が認められる期間は最大１年間です） |  |

研修の質担保の方法など：

（下記の１か２のうち、該当するものに記載ください。）

|  |
| --- |
| １．常勤の認定指導医以外の上級医が在籍している場合（細則第７条（３）に該当） |
| 学会の認定指導医が置けない理由 |  |
| 研修の質担保の方法(該当の□を■にし、(　)に記述する） | □Ａ. プログラム責任者 または プログラム内の認定指導医による週１回の直接対面か遠隔テレビ会議等による振り返りおよび3ヶ月に1回の研修施設訪問 |
| □Ｂ. Ａの2つを満たすのと同等のその他の方法（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
| ２．常勤の認定指導医も認定指導医以外の上級医も不在の場合（細則第７条（４）に該当） |
| 指導医・上級医が置けない理由 |  |
| 研修の質担保の方法(該当の□を■にし、(　)に記述する) | □Ａ. プログラム責任者 または プログラム内の認定指導医による週１回の直接対面か遠隔テレビ会議等による振り返りおよび3ヶ月に1回の研修先訪問 |
| □Ｂ. Ａの2つを満たすのと同等のその他の方法（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 診療の質と研修医の労働衛生を担保する方法(右の各欄に記述する) | 常勤の指導医・上級医が不在の状況でも職責を果たせる程度に当該研修医が十分な診療能力を有することを担保する、それまでの研修方略および評価法について（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 研修医がいつでも相談できる体制について（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 研修医の休日の確保、代診制度など、労働衛生面での配慮について（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

以上